# オーディオ・ビジュアル編

# MUSIC RACK・ マイアルバムを聴く

本機への録音方法、またMUSIC RACKとマイア ルバムの再生方法などの操作について説明しま す。



MUSIC RACKとは	214
MUSIC RACKに録音する 2	215
マイアルバムを作成する	219
画面表示とタッチキーについて 2	222
再生する	224
いろいろな再生方法	225
アルバム、トラックを編集する	242

# MUSIC RACKとは

MUSIC RACKとは、CDの曲を本機に録音し、再生する機能のことです。CDを 持っていなくても、MUSIC RACKからそのCDの曲を聴くことができます。

MUSIC RACKの仕様は、下記の通りです。

録音可能曲数	最大4000曲*(アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収 録できる曲数:最大99曲) ※ただし、録音可能時間の範囲内のみ**		
録音できる音源	音楽CDのみ***		
音質	ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。 CDの音質を損なわず、容量を約1/10に圧縮できます。		

\* MUSIC RACKとFILE RACK (P.249) では同一のドライブにデータが保存されるため、 FILE RACKで大量のデータを取り込むと、MUSIC RACKで録音できる曲数は減少しま す。

\*\* 録音可能時間については、「ハードディスク情報を見る」(P.124)をご覧ください。

\*\*\*再生できるCDについては、「CDについて」(P.463)をご覧ください。

本機は、SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム: Serial Copy Management System)の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。 SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号 のまま録音する」というデジタル信号同士のコピーを<1世代まで>と規制して おります。

したがって、下記の操作を本機で行うことはできません。

●本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること

●デジタル録音およびコピーの禁止されているCDを録音すること

●CDからデジタル録音したCD-RとCD-RWからの録音

(דדיאל ד

・録音した曲の中からお好みの曲を集めて、オリジナルのアルバムを作ることができま す。詳しくは、「マイアルバムを作成する」(P.219)をご覧ください。

# MUSIC RACKに録音する

MUSIC RACKを使用するには、まずCDの曲を本機に録音します。

### 録音する前に必ずお読みください

- ・録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
- ・本機の故障や誤作動および不具合により録音に失敗した場合、録音内容および 消失した録音データの補償については、ご容赦願います。
- ・録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無 断で使用することはできません。
- ・録音したデータは、いかなる記憶媒体にも転送できません。
- CDの録音中は、ドルビープロロジックⅡ機能 (P.329) に制限がかかること があります。

### タイトル表示について

CDを本機に録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition Service<sup>SM</sup>のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情 報が取得され、画面上に表示されます。

情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。

また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

#### **() 7K**/**1X**)

・ Gracenote Music Recognition Service<sup>SM</sup>のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新することができます。
 詳しくは、「アルバム情報の更新について」(P.393)をご覧ください。

### 録音についてのご注意

#### 録音時の状態について

下記のような場合には、音声が途切れたり 音が飛んで録音されることがあります。

- ・録音中にCDの音が飛んだ
- ・傷があるなどCDの状態が悪い
- ・録音中に振動の激しい悪路を走行した

#### 録音中の操作について

録音中に下記の操作を行うと、録音中止の 確認メッセージが表示されます。

録音を中止する場合は<mark>はい</mark>を、続行する場 合は<mark>いいえ</mark>をタッチします。

- トラックキーまたはリストからの選曲 (ダイレクトトラック選択)
- REC をタッチする
- ・リピート/スキャン/ランダム再生

#### (145世)

 録音中は早送り、早戻し、トラックの アップ/ダウン操作はできません。 また、録音中に下記の操作を行うと、録音 中の曲が消去されます。

- エンジンを切る 次回エンジンをかけると、前回録音し ていた曲の先頭から録音を再開しま す。
- CDを取り出す
  自動録音時:

同じCDを再び挿入すると未録音の 曲から録音・再生します。

#### 手動録音時:

曲の消去と同時に録音設定がキャン セルされるので、同じCDを再び挿 入するときは録音設定を行ってくだ さい。





1

・自動録音は、最大6倍速で行われます。ただし、システムの動作状況により、必ずし も上記の動作が保証されるわけではありません。

### CDを本機に挿入する

自動的に録音が始まります。 工場出荷時はこの設定になっています。

#### 自動録音に設定する



### 手動録音

設定が自動録音になっている場合は、まず手動録音に設定してから録音操作を 行ってください。

#### 手動録音に設定する





# マイアルバムを作成する

マイアルバムは、MUSIC RACKに録音した曲からよく聴く曲を集めて、お好みのオリジ ナルアルバムとして編集できる機能です。

#### ( ● くお知らせ )

- マイアルバムが1つも作成されていない場合は、マイアルバムをタッチすると「アルバムが作成されていません。作成しますか?」と表示されます。
  はいをタッチするとマイアルバムの作成画面(手順5)が表示されます。
- CD録音中は、マイアルバムの作成はできません。



┓戻る



### 5 アルバム名を全角/半角28文字までで入力して、 決定をタッ チする

6

#### トラックの追加方法を選択してタッチする



選択した方法で、MUSIC RACK に録音済みの音源がリスト表示さ れます。

アルバム選択でトラックを追加す る場合は、手順8に進んでくださ い。



#### 登録したいアーティスト名またはジャンルをタッチする



※画面は手順6で「アーティストから」をタッチした場合のものです。 選択した項目のアルバムリストが 表示されます。



登録したいアルバムを選択してタッチする



登録したいトラックを選択してタッチする

複数のトラックを選択できます。



**20 選択し終わったら、**アルバム作成 をタッチする アルバムが作成され、アルバムリスト画面に戻ります。



# 画面表示とタッチキーについて

画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、 一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違い は以下を参照してください。

#### ( ● くお知らせ )

・本機で対応しているディスクについては、「対応メディア・対応ファイルについて」 (P.462)をご覧ください。



オーディオ画面

ナビ画面



1	アルバム名称	現在再生中のアルバム名表示 タッチすると、スクロールします。	
2	類似曲	ジャンル、リリース時期などが似ている曲を集めて再生す る	
З	่ หืb⊎t <sup>™</sup>	ソングパレットから再生する	
4	オートプレイ	お好みのプレイリストを作成する	
5	トラックキー	再生中のアルバムにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラッ クが再生されます。	
6	¥. ¥	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られ ます。	
7	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを先頭に表示させる	

8	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する (P.154)
9	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための 機能メニューを表示する ( <b>P.230)</b>
10	前アルバム、次アルバム	再生するアルバムを切り替える
11	_ マイ アルバム	マイアルバムリストを表示する <b>(P.219)</b>
12	リスト	アルバム/トラックリストを表示する
13	オーディオコントロー ルキー	現在選択されているソース(MR)表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示/ 非表示を切り替えます。

※背景の設定 (P.154) で「メイン画面」を選択した場合のみ表示されます。

#### ( ● く お知らせ )

- ・1曲ずつ選曲するときは、■●および●●を押します。●●を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。■●を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に■●を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- ・ 早送り/早戻しするときは、 ▶▶ (早送り) および ▶◀ (早戻し) を押し続けて 行います。
- MUSIC RACKに何も録音されていない場合は、「NO ALBUM HDDにはなにも録音 されていません」と表示されます。

再生する





# いろいろな再生方法

### リストから選んで再生する

アルバム/トラックリストから、ダイレクトに曲を選択できます。



- 見たいアルバム/トラックタイトルが表示されていない場合は、本または、をタッ チしてリストをスクロールしてください。
   ただし、走行中はリストをスクロールすることはできません。現在表示中のリストからのみ選曲できます。
- ・ または ▶ を押して、表示されているアルバム/トラックを選択することもできます。



聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。



Δ

(MUSIC RACK)

### アーティスト名を選んで再生する

アーティスト名を入力して、目的のアルバムを探し出して再生します。

#### ( そうしょう しんしょう ( しんしょう しんしょう ( しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう ( しんしょう しんしょう ( しんしょう しんしょう しんしょう ( しんしょう ( しんしょう しんしょう ( しんしょう ( しんしょう) しんしょう ( しんしょう ( しんしょう) ( しんしょう ( しんしょう) ( しんしょ) ( しんしょ

 ・ Gracenote Music Recognition Service<sup>SM</sup>から情報が取得されていないアルバム は検索できません。その場合は、「アルバム情報を編集する」(P.242)を参照して、 情報を手入力してください。





アーティスト名は記号→数字→英語→ひらがな/カタカナ→漢字の順で表示 されます。

### 2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。



Μ

U S I C

RACK・マイアルバムを聴く

### ジャンルを選んで再生する

MUSIC RACK

ジャンルを選択して、目的のアルバムを探し出して再生します。

#### 

 Gracenote Music Recognition Service<sup>SM</sup>から情報が取得されていないアルバム は検索できません。その場合は、「アルバム情報を編集する」(P.242)を参照して、 情報を手入力してください。



#### 目的のジャンルをタッチする

選択したジャンルで登録してあるアルバムが、番号の若い順にリスト表示されます。



### 2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。



### 最近聴いた曲を選んで再生する

最近聴いた曲の中から、目的のトラックを検索できます。

#### ( 📢 く お知らせ )

- 最近聴いた曲として検索できるのは、アルバムリストから選択されたアルバム、音声 操作で選択したアルバムとなります。ただし、再生中のアルバムを選択した場合は、 そのアルバムは「最近聴いた曲」には登録されません。
- FUN RINGメニューから最近聴いた曲を探すこともできます。詳しくは「最近聴いた アルバムの曲を聴く」(基本操作ガイド編 P.95)をご覧ください。







アルバムの先頭から再生が始まります。



### アルバム番号を選んで再生する

アルバム番号を入力して、目的のアルバムを検索します。



#### アルバム番号を入力して 決定をタッチする

入力した番号を先頭にしたアルバムリストが表示されます。

### 2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。



### 

► END



### リピート、スキャン、ランダム再生をする

リピート、スキャン、ランダム再生のしかたについて説明します。

#### ( ● くお知らせ )

・ MUSIC RACKでランダム再生を選択し、その後MUSIC RACK以外のソースに切り 替えてふたたびMUSIC RACKに戻った場合、録音済みの曲数が変わっていると、異 なる曲が再生されることがあります。

ど ここまでの操作 機能					
1	目的の項目	をタッチし	、 図閉じる をタッチする		
	機能メニュー REPEAT A SCAN A RANDOM A	LBUM TRACK			
	1 演奏方法を選択して	ください。			
	ALBUM	(REPEAT)	:現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。		
	TRACK	(REPEAT)	:現在再生中のトラックのみをリピート再生します。		
	ALBUM	(SCAN)	: 各アルバムの先頭トラックの出だしを10秒間 ずつ再生します。		
	TRACK	(SCAN)	:現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを 10秒間ずつ再生します。		
	ALL TRACK	(RANDOM)	:全アルバムの全トラックをランダムに再生します。		
	1ALBUM	(RANDOM)	:現在再生中のアルバムの全トラックをランダム に再生します。		

選択した動作での再生が始まります。

### 2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

選択を解除し、再生中のアルバムまたはトラックから通常の再生になります。 ▶ END ◀

### 指定したアルバムを再生する

再生するアルバムを指定します。複数のアルバムを指定できるので、好きなアルバムだけ をつづけて再生することができます。



### オートプレイリストを作成して再生する MUSIC RACK

オートプレイリストは、MUSIC RACKに録音した曲からアーティスト名、アー ティストタイプ、ジャンル、リリース時期などの条件で曲を集めて、お好みのプ レイリストとして編集できる機能です。

#### ( ● く お知らせ )

- ・プレイリストは最大99曲まで集められ、曲順はランダムに再生されます。
- ・ CD録音時は、オートプレイリストの設定および再生はできません。
- ・走行中は、オートプレイリストの設定はできませんが、再生をすることはできます。

オートフレᡗ<sup></sup>をタッチする

オートプレイリスト設定画面が表示されます。

#### 

シャフル	指止なし	
リリース時期 🎙	指定なし~指定なし	再生開始
1 メモリ無し	2 メモリ無し	3 メモリ無し
	4 メモリ無し	コ戻る
『ブレイリストf	乍成の条件を設定してください。	

各条件設定画面が表示されます。



• 「アーティスト」「ジャンル」「リリース時期」の各設定画面で、選択後に 決定をタッ チすると選択した内容が有効になります。 アーティスト選択

アーティスト名またはアーティストタイプをタッチし、希望の項目をタッチして選択します。



- アーティスト名: アーティスト名のリストから選択します。アーティスト を選択しない場合は、すべてのチェックマークを外しま す。
- アーティストタイプ:以下のアーティスト種別リストから選択します。 男性ソロ/女性ソロ/男性デュオ/女性デュオ/男女 デュオ/男性グループ/女性グループ/男女グループ/ その他
  - アーティストタイプを選択しない場合は、すべてのチェッ クマークを外します。
- ※アーティスト名とアーティストタイプは同時に選択できません。また、選択で きるアーティスト名とアーティストタイプは1つだけです。

#### ジャンル選択

希望のジャンルを選択してタッチします。 選択できるジャンルは1つだけです。





リリース時期設定

➡ で指定するか、年代キーをタッチしてワンタッチで範囲を指定することもできます。

指定できる範囲は、1900年~2008年(※)までです。

※指定できる範囲は、本機を使用している当年が最大値となります。



### 3 登録したいプリセットキーを「ピーッ」と音がするまでタッチし 続ける

設定した条件を登録しない場合は、手順4に進んでください。



プリセットキーには、以下が表示されます。 (アーティスト名が表示):アーティスト名が指定されています。 指定無し: 再生条件が設定されているが、アーティスト名は指 定されていません。

メモリなし:

再生条件が設定されていません。

### 4 再生開始をタッチする

オートプレイリストが再生されオーディオ画面に戻ります。 過去に設定した条件で再生する場合は、再生したプリセットキーをタッチし てから再生開始<sup>N</sup>をタッチします。



- ・設定した条件は4つまで登録できます。ユーザーを登録している場合は、ユーザーご とに4つまで登録できます。
- ・リリース順に並べ替えた曲順は、プリセットキーに登録できません。
- オートプレイリスト再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。また、 アルバム名、アーティスト名、ジャンル名によるアルバム検索もできません。
- オートプレイリスト再生中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、CDモードに画 面が変わります。このときオートプレイリスト再生は終了しないため、ふたたび MUSIC RACKに画面が切り替わると、引き続きオートプレイリスト再生が始まりま す。
- ・プレイリスト作成中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、プレイリスト作成が 完了するまで音が出力されないことがあります。
- プレイリスト作成中に一を押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

### **7**<sup>5</sup><sup>5</sup><sup>7</sup><sup>5</sup>

 アーティスト、ジャンル、リリース時期を指定せずに再生を開始すると、すべてのト ラックからランダムで99曲集められて再生されます。





#### 類似曲を再生する

MUSIC RACK

現在再生中のトラック情報から、アーティスト、ジャンルが類似している曲を集めて、自動再生する機能です。

#### (してきない)

・類似曲として集められた曲を登録することはできません。

### 類似曲をタッチする

類似曲がランダムに最大で99曲集められ、曲の再生が始まります。

#### 2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

#### (●くお知らせ)

- ・類似曲再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。
- ・ 類似曲再生中に 再生開始<sup>▶</sup>をタッチすると、類似曲再生が中止となりオートプレイ再生 が始まります。オートプレイ中に 類似曲をタッチすると、オートプレイ再生が中止と なり類似曲再生が始まります。
- CDの録音中は、類似曲再生はできません。ただし、類似曲再生中にCDの録音を始め た場合は、類似曲再生されたままCDの録音も開始されます。
- ・類似曲リスト作成中に一を押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

### **<b>T**FINTZ

- 類似曲再生中にリストをタッチすると、集められた曲のリストが表示されます。
- ・オーディオコントロールバーの通常再生をタッチしても通常の再生に戻ります。



### ソングパレットから再生する

いま聴きたい曲のイメージを指定すると、そのイメージに合った曲を最大で99 曲集めて、自動再生する機能です。

曲のイメージは、CDからの録音時に自動で本機に登録されます。

### パレットをタッチする

ソングパレット画面が表示されます。





タッチしたポイントのイメージに最も近い曲がプレビュー再生されます。 プレビュー再生が終了すると、それまで再生していた曲に戻って再生されま す。

#### **------<b>7**ドバイス)

- ソングパレット表示時のカーソル位置は、現在再生中のトラックのイメージを示しています。
- ・ タッチしたポイントのイメージに応じて、背景色と画像が変わります。
- タッチするポイントが端に近づくほど、そのエリアのイメージが強くなります。
- タッチしたポイントのイメージに合致する曲が存在しない場合は、「該当する曲が見つかりませんでした。」と表示され、通常の再生に戻ります。

### 3 再生開始をタッチする

選択したイメージの曲のプレイリストが再生されオーディオ画面に戻りま す。

MUSIC RACK

#### ( ま知らせ )

- ソングパレット再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。また、 アルバム名、アーティスト名、ジャンル名によるアルバム検索もできません。
- ・ソングパレット再生中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、CDモードに画面が 変わります。このときソングパレット再生は終了しないため、ふたたびMUSIC RACKに画面が切り替わると、引き続きソングパレット再生が始まります。
- ・プレイリスト作成中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、プレイリスト作成が 完了するまで音が出力されないことがあります。
- ・プレイリスト作成中に一を押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

### רדאד

・ソングパレットにおける曲のイメージは、抑揚度と周波数比で決められています。



抑揚度が高いほどビートが利いた印象になり、周波数比が高いほど力強く激しい印象 になります。

例:周波数比が低く抑揚度が高い曲は、「クール」の中でも「元気」な印象の曲とな ります。





### 「探す」メニューから聴きたい曲を選んで再生する

**目的地**(「探す」メニュー)を押して、聴きたい曲をプレイリストとして選曲 することができます。

「探す」メニューから選曲できる曲は、MUSIC RACKに録音された曲のみです。

#### ( まえん お知らせ )

- ・この操作を行うと、ソースがMUSIC RACKに切り替わります。
- CD録音中にソースをMUSIC RACKに切り替えて「曲を探す」メニューを表示すると、 録音済みの曲のみ表示され、その後録音が終了した曲は表示されません。一度 MUSIC RACK以外のソースに移り、ふたたびソースをMUSIC RACKに切り替える と、録音済みの曲がすべて表示されます。

#### 

曲を探すメニューが表示されます。

#### ? アーティスト 、 ジャンル 、または リリース時期 にタッチする

以降の操作については、「オートプレイリストを作成して再生する」(P.232) をご覧ください。



アルバム、トラックを編集する



**END** 

### 不要なアルバムを削除する



・ MUSIC RACKモード時に、マイアルバムに収録されているアルバムを削除すると、 マイアルバムからも削除されます。









3 決定をタッチする

確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。 アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

END 📢



### ○ 区閉じる をタッチする

情報を編集した次の曲から再生が始まります。





### 4 決定をタッチする

確認メッセージが表示され、トラックリスト画面に戻ります。 トラックリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。



# Memo